

社会資本総合整備計画

平塚市防災・安全公共下水道整備計画

事後評価

神奈川県平塚市

平成29年3月27日

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年3月27日

計画の名称	平塚市防災・安全公共下水道整備計画									
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）		交付対象	平塚市						
計画の目標	下水道を改築、更新及び整備することにより、安全・安心な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標（定量的指標）	<p>下水道による都市浸水対策達成率を、76.2%（H23）から77.3%（H27）に増加させる。</p> <p>合流式下水道改善率を、73%（H23）から100%（H25）にする。</p> <p>合流区域の重要な管渠における長寿命化達成率を、0%（H23）から34%（H27）に増加させる。</p> <p>ふじみ野地内の管渠（汚水・雨水）における長寿命化計画策定率を、0%（H23）から100%（H27）にする。</p> <p>東部ポンプ場における長寿命化達成率を、0%（H23）から25%（H27）に増加させる。</p> <p>国道1号車道部分における耐震化達成率を、0%（H23）から75%（H27）に増加させる。</p> <p>東部ポンプ場（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部）における耐震化率を0%（H23）から100%（H27）に増加させる。</p>									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 （H23当初）	中間目標値 （H25末）	最終目標値 （H27末）				
下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済みの面積（ha）/ 浸水対策を実施すべき面積（ha）				76.2%	77.1%	77.3%				
合流式下水道改善率 合流式下水道改善済みの面積（ha）/ 合流区域面積（ha）				73.0%	100.0%	100.0%				
合流区域の重要な管渠における長寿命化達成率 長寿命化済みの管渠の延長（m）/ 長寿命化を実施すべき管渠の延長（m）（2,460m）				0.0%	4.0%	34.0%				
ふじみ野地内の管渠（汚水・雨水）における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの管渠の延長（m）/ 長寿命化計画を策定すべき管渠の延長（m）				0.0%	0.0%	100.0%				
東部ポンプ場の長寿命化達成率 長寿命化済みの施設数（台）/ 長寿命化を実施すべき施設数（台）（57台）				0.0%	0.0%	25.0%				
国道1号車道部分における管渠（函渠）（合流・汚水・雨水）の耐震化率 耐震化完了済みの管渠（函渠）の延長（m）/ 耐震化を実施すべき管渠（函渠）の延長（1,266m）				0.0%	25.0%	75.0%				
東部ポンプ場（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部）の耐震化率 耐震化完了済みの施設数（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部）/ 耐震化を実施すべき施設数（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部）				0.0%	0.0%	100.0%				
全体事業費	合計 （A + B + C）	1,601百万円	A	1,578百万円	B	0百万円	C	23百万円	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）	1.4%
事後評価（中間評価）										
事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期										
事後評価（中間評価）の実施体制					事後評価（中間評価）の実施時期					
学識経験者等で構成された平塚市下水道運営審議会で、評価指標の実現状況及び今後の方針等について意見を求め、事後評価を実施した。					平成29年3月					
					公表の方法					
					平塚市ホームページで公開					

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A7 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A-1-2	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	桜ヶ丘排水区:区域内準幹線(浸水対策)	雨水管L=0.1km	平塚市						22.400	
A-1-3	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	南原第1排水区:区域内準幹線(浸水対策)	雨水管L=0.7km	平塚市						57.060	
A-1-4	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	大野東排水区:区域内準幹線(浸水対策)	雨水管L=0.2km	平塚市						52.700	
A-1-6	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	新田排水区:区域内準幹線(浸水対策)	雨水管L=0.3km	平塚市						231.420	
A-1-7	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	高根排水区:区域内準幹線(浸水対策)	雨水管L=0.1km	平塚市						21.700	
A-1-15	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	豊田排水区:区域内準幹線(浸水対策)	雨水管L=0.4km	平塚市						40.000	
A-1-16	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	三沢川排水区:区域内準幹線(浸水対策)	-	平塚市						0.000	
A-1-17	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	大神第1排水区:区域内準幹線(浸水対策)	雨水管L=0.1km	平塚市						18.800	
A-1-18	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	西海地排水区:区域内幹線(浸水対策)	雨水管L=0.1km	平塚市						260.000	
A-1-19	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	横内排水区:区域内準幹線(浸水対策)	雨水管L=0.1km	平塚市						67.666	
A-1-20	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	東豊田第2排水区:区域内準幹線(浸水対策)	-	平塚市						0.000	
A-1-21	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	中原排水区:区域内準幹線(浸水対策)	-	平塚市						0.000	
A-1-22	下水道	一般	平塚市	直接	-	雨水	新設	真土第2排水区:区域内幹線(浸水対策)	-	平塚市						0.000	
A-2-1	下水道	一般	平塚市	直接	-	合流	新設	松風町・久領堤貯留管(合流改善)	貯留管ポンプ場N=1棟 事後評価委託	平塚市						312.450	
A-2-4	下水道	一般	平塚市	直接	-	合流	改築	第34-4処理分区:管きよ改築(長寿命化計画)	管更生L=0.3km	平塚市						93.906	
A-2-7	下水道	一般	平塚市	直接	-	汚水 雨水	(全種) 改築	ふじみ野地内:長寿命化計画	-	平塚市						0.000	
A-2-8	下水道	一般	平塚市	直接	-	合流	(全種) 改築	東部ポンプ場:長寿命化計画	-	平塚市						0.000	
A-2-9	下水道	一般	平塚市	直接	-	汚水	改築	東部ポンプ場:ポンプ場改築(長寿命化計画)	実施設計委託	平塚市						13.000	
A-2-10	下水道	一般	平塚市	直接	-	合流 汚水 雨水	改築	管渠(函渠)の耐震化(国道1号車道部分)	管路耐震化L=0.7km	平塚市						175.380	
A-2-11	下水道	一般	平塚市	直接	-	合流	改築	第34-1、2、3処理分区 管きよ改築(長寿命化計画)	管更生L=0.3km	平塚市						188.984	
A-2-12	下水道	一般	平塚市	直接	-	合流	改築	ポンプ場の耐震化(東部ポンプ場)	耐津波・耐震診断	平塚市						23.300	
合計															1,578.766		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
C-2-5	下水道	一般	平塚市	直接	-	全種	下水道BCP策定	下水道BCP策定	平塚市							14.0000	
C-2-6	下水道	一般	平塚市	直接	-	全種	管渠(函渠)の耐震化(国道1号車道部分)	管路耐震化L=0.1km	平塚市							9.0200	
合計															23.0200		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
C-2-5	下水道施設の耐震化対策と併せて下水道BCPを策定することにより、ハード面とソフト面とともに地震災害時における総合災害対策の向上を図る。																
C-2-6	国道1号車道部における基幹事業以外の管路を耐震化することにより、より広範囲に下水道施設における耐震化対策を図る。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 【指標】雨水管の整備により、1時間に51mmの大雨に対する安全度が向上し、浸水被害の軽減が図られた。 【指標】合流改善対策により、未処理水の河川への放流改善が半減し、分流並みの水質に改善された。 【指標】合流区域内の長寿命化対策により、下水道機能の確保、事故の未然防止及びライフサイクルコストの低減が図られた。 【指標】国道一号車道部の耐震化により、緊急輸送路の交通機能確保及び大規模地震時における下水道機能が確保された。 			
定量的指標の達成状況	指標（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	77.3%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	77.3%		
	指標（合流式下水道改善率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100.0%		
	指標（合流区域の重要な管渠における長寿命化達成率）	最終目標値	34.0%	目標値と実績値に差が出た要因	浸水対策事業を優先したため、目標値34.0%に対して、実績値は31.6%と下回ったが、概ね目標を達成した。
		最終実績値	31.6%		
指標（ふじみ野地内の管渠（汚水・雨水）における長寿命化計画策定率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
	最終実績値	100.0%			
指標（東部ポンプ場の長寿命化達成率）	最終目標値	25.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値25.0%に対して、実績値は0%と下回り、目標を達成できなかった。未達成理由は、本市の耐震判断の基準となる国の指針が改定されたことにより、東部ポンプ場の耐震化工事が遅れ、耐震化工事と同時に実施する予定だった長寿命化対策も遅れたため。	
	最終実績値	0.0%			
指標（国道1号車道部分における管渠（函渠）（合流・汚水・雨水）の耐震化率）		75.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値75.0%に対し、実績値は56.8%と下回り、目標を達成できなかった。未達成理由は、本市の耐震判断の基準となる国の指針改定に合わせ、設計を見直したことや国道1号における交通の安全確保や渋滞対策により耐震化工事が遅れたため。	
		56.8%			
指標（東部ポンプ場（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部）の耐震化率）		100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値100.0%に対して、実績値は0%と下回り、目標を達成できなかった。未達成理由は、本市の耐震判断の基準となる国の指針改定に合わせ、耐震・耐津波補強対策について設計を見直すとともに、昨今の大地震発生状況を踏まえて、当初、中・長期で対策予定だった土木部の耐震・耐津波対策を早期に実施することにし、東部ポンプ場の耐震化工事が遅れたため。	
		0.0%			
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 【指標】東部ポンプ場の長寿命化対策の実施設計を行い、対策方法を確定した。 【指標】東部ポンプ場の耐震診断を行い、耐震化対策が必要な箇所を抽出した。 【C-2-6】下水道BCPの策定により、大規模地震時における体制の課題を整理し、被災後に下水道機能を速やかに回復するための計画を策定した。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・浸水から都市を守り、安心・安全なまちづくりを進めるため、「平塚市総合浸水対策基本計画」に基づいた浸水対策を実施し、浸水被害を軽減していく。 ・大規模地震時における下水道施設の被害を最小限にするために、国道一号車道部に埋設されている管路及び東部ポンプ場の耐震化を進めていく。 ・持続可能な下水道事業を目指すため、ストックマネジメント手法を活用し、長期的な施設の状態を予測しながら、老朽化した管路及び東部ポンプ場を計画的かつ効率的に管理していく。 					

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

